

臨床研修カリキュラム

養成コース [内分泌代謝・糖尿病内科]

全体目標：内科診療の基本を身につけるとともに、主な内分泌代謝疾患について病態生理や患者指導を含めて学び、内分泌代謝領域の基本的な診療ができるようになる。

個別目標：

- 1) 病歴聴取および身体診察、検査所見から患者のプロブレムを挙げ、アセスメントおよびプランを立てることができる。
- 2) 状況に応じたプレゼンテーションおよびコンサルテーションができる。
- 3) Evidence Based Medicine (EBM)を実際の診療に活かすことができる。
- 4) 患者の心理社会的背景を考慮した指導・治療ができる。
- 5) 糖尿病、脂質異常症、高血圧、高尿酸血症の診療ガイドラインに沿った診断と治療ができる。
- 6) 栄養管理（栄養士）、日常生活管理（看護師）をはじめ、虚血性心疾患、脳血管疾患、足壊疽、糖尿病性合併症を通じ、関連各部署・診療科との連携、チーム医療を実践できる。
- 7) 副腎や下垂体疾患などの内分泌疾患の診断ができる。
- 8) 上級医・指導医の指導監督のもとで患者の生活指導および病状説明ができる。

方略：

病棟で5人程度の患者を受け持ち、上級医・指導医の指導のもと受け持ち医として主体的に診療する。

- ・教授回診…週1回（水）。受け持ち患者に関してプレゼンテーションを行う。
- ・臨床カンファレンス…隔週（月）。ローテーション中に1回は発表することを目標とする。
- ・臨床教授による内分泌代謝疾患のレクチャー…第2月曜日・第4月曜日。
- ・糖尿病教育入院カンファレンス…週1回（水）。看護師および管理栄養士、薬剤師とともに教育入院患者の診療方針について検討をする。
- ・糖尿病教室…月1回。上級医の指導のもと、ローテーション中に1回は糖尿病教室の講師を務める。

評価：

- ・E P O C IIによる評価を行う。